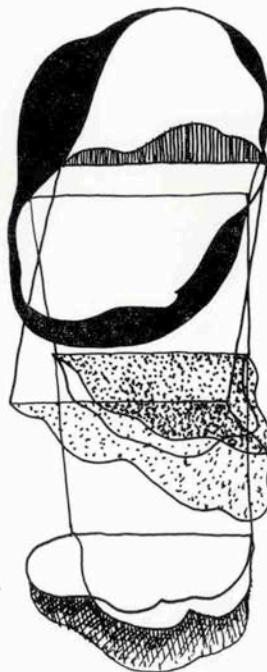


隨想三題



花時計のような

和田 英子
（詩人）

風にはなびらがそよぐよう
人の視線を全身にあびて
ひとつとき
あなたの背中に流れ
ピアノ線のような

戦慄

花時計の針がぎりっと動く

しなやかな髪をもち

しろい頬をもつ

花時計の針がぎりっと動く
わかい娘のような
花時計の花たちよ
花時計の花のような
四月の花のような

わかい娘たちよ

あなたが歩くと

花時計の針がぎりっと動く

わかい娘たちよ
あなたが歩くと
あなたの踵がのびあがる

花時計の針がぎりっと動く
ぎりっと針が動くと
食べる彼女らを見ていると、正

に、花時計がぎりっと動いている
な、と思わずにはいられない。

そして、わたしにもそんな時代
があつたかと、遠い日々を問い合わせ
してみたりする。

戦後の、衣食住すべて不自由だ
ったころ、わたしは神戸を離れて、瀬戸内の小さな町にいた。町
い人達で、街やオフィスはみちみ
ちている。特に若い彼女たちは
皆、申し合せたようにくつたぐが
なく、他人のちょっとした仕草に
笑いころげるようすは、物価高や
何やらいがらっぽくなつてゐる
大人達を、気分的になごませ、新
鮮な気持をよびおこさせて、その
影響力は、彼女たちが意識してい
る以上に、大きな力をもつていて
ようだ。

「先生は戦争中どうなさつてい
たのだろう」

中折帽子をまぶかにかぶり、ト
レンチコートのえりを立てて、春
寒の細い露路を、さつと歩かれた

姿と、酒倉にうつった長いかけを見て、わたしは、痛ましさと恐れを、氏に感じた。講義の内容はすっかり忘れてしまったが、入江の水面や、氏の後姿が、今ではつきりうかび上がる。

その後、氏は国会図書館の副館長をなさっておられたが、まもなく急に歿くなられた。

あの頃、わたしもくつたくなくのびのびしていただろうか。一シズンを、一足の革靴、一枚の上着ですごしたわたしの二十歳は、はなやいでいただろうか。当事者のわたしには答えは出ない。

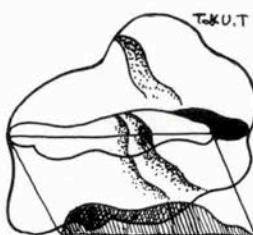
ただ、わたしの身体の中で、その季節にしか咲かない花時計が音をたててぎりっと動いていたことは、たしかなことであつたようである。

さよなら神戸

(未成年用・18歳以上お断り)

榎並 正雄

〔アトリエ「ワントウェイ」プロデューサー〕



もう一年以上経つ。だが、"さよならがいえない街"、神戸に住みながら、"さよならがいえるボク"を幻視するボクは、神戸っ子のはみだし野郎なんだろうか。

"ぼくの神戸"に出会うためにはいくつかの「神戸」とさよならしなければならないのだろうか。

さよなら神戸

こつそり終了台を教えてくれたエーワンの和ちゃんにさようならとうとうおかまから女になつちまつた、ニュージャパンのボタンちゃんにさようならさよなら神戸バンビの二階テープルに刻まれた「愛と革命」にさようならボクとヒロミの髪に虚構のリボンを結んでいった北野町の五月の風にさようならさよなら神戸いつもTシャツの下にブラをつけていたご清潔な神戸センスのゆみ子チャンにさようならニイー・ニイーの化粧室のドアで消えかかっている灘高全斗委員に

ボクは、あらゆる「神戸」にさよならするという精神的な作業を通して、更に深いところで、いつも神戸と神戸っ子に出会いたいと思う。ボクが神戸にこだわり続けた理由はこの出会いの希釈でしかない。

神戸っ子は、サンチカのおうむのよう、いつも首をたてにしか振ることを知らず、翔べない、叫べない鳥でしかないのだろうか。

さあ、みんなニコニコ・バッジは捨てましょ。そして、心に怒りとさよならのバッジを付けましょ。だつて、神戸のシンボル・マークはいかりでしょ。

だが、「さよなら神戸」といながら、赤い靴をきちんとそろえてメリケン波止場から初冬の海へ飛び込んでいったボクの少女アイは、あこがれの地サンフランシスコへ泳ぎ着くことができたのだろうか。

さんちかタウンが、"さよならがいえない街"をメイン・コピーに改装キャンペーンを張つてから、

良平叔父の 思い出

その2

飯塚
祇之

（富士重工業KKデザイナー）



（写真のない者は名前を書いて貼る）毎日を元気に無事に御国たるに御奉公していることを報告するよう教えられた。

群馬の片田舎から満州チチハルの航空隊に入った者は少なく、下手く真などあらうはずもなく、下手くそな字で何げなく母の名を書いて貼った。

画家・小磯良平叔父と私の母は從姉弟に当る。私が四、五歳のころだった。父の仕事の関係で、朝鮮（今の韓国）仁川に赴任していたある夏、当時上野の美術学校の画学生であつた良平叔父が、私の母を頼って、渡鮮してきた。

今も私の家には、仁川の田舎道を描いた油彩のスケッチがある。その裏面にはあまり上手ともいえない字で「なまけもの」と書きなぐつてあるのを見たびにあの眼の小さい、少々小肥りのした叔父の笑顔が浮かんでくるのである。

それからの私は、群馬の祖母のもと（父の故郷）で、祖母がなくなる小学校五年の五月までをわんぱくで過ごし、中学一年の一学期終了までを再び関西の芦屋で過ごしたが、その間一度も良平叔父とは逢う機会がなかった。

私が兵隊生活に入つて間もなくのある日のこと。兵隊は皆それぞれに手箱といって本箱のようなものを持っている。

初年兵のわれわれは、上司の命令で、その手箱の奥に、離れた故郷の父母や妻子の写真を貼つて

に向って毎日、『元気』なることを報告していたのは、いうまでもない。

ただし、かえすがえすも残念でたまらないのは、その後、写し取つた絵は、軍隊で処分され、空襲では原画も燃失してしまったことである。

それにしても、私にとつて思い出の糧として今でも残つてゐるのは、只一枚の複写の写真が私の家の仏壇で、息子や孫の成長を見守つてくれていてことである。

（つづく）

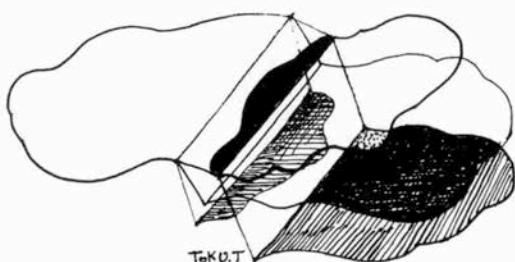
満州という気候風土の違いから『脚氣』という病気に見舞われた私は、心ある軍医の計らいで、内地へ帰つて療養する許可をもらい、一時母の実家（当時は西宮の今津に転居していた）で休養を攝ることにした、そのある日である。

やはり美術学校のこれは图案科を出た叔父（母の弟）のアトリエに上つて、あつちの戸棚、こつちの本棚と、何とはなしに珍しいものがあつたら貫つていこうと、さがしてゐるうちに、本の間から半分に折られた一枚の素描が出て來た。

『神のみちびき』なんていうのはこんな時をいうのか、開いて見ると、良平叔父の画いた母の肖像画早速に所望したが、叔父曰く『良ちゃんの画いたのはそれ一枚しかないから……』と。

致し方なく、ほしい一心で夢中で半日位もかかつて写し取ることができた。

後に写真屋で複写し、その写真



カット／田中徳喜

愛犬家グループ "ジャパン・ケンネル・クラブ" (JKC) はまたの名を、全日本警備保障協会、全日本畜犬登録協会という。

兵庫県支部は昭和二十六年創立され、今年で満二十一年を迎える支部長も三代目、その間の展覧会も三十回以上を数える。また全国に先駆けて、七、八年

も三十回以上を数える。

も三十回以上を数える。

★ある集いその足あと★



ジャパンケンネルクラブ兵庫県支部

天野 義一 (JKC兵庫県支部支部長)



郎、大国主の命、闐牛士、チャイナ娘、二丁けんじゅうのカウボーイ……と多士いや多犬済々。

もちろん着こなすにはかなりの訓練が必要。キビシイしつけを施した上でわが子の晴れ姿を競うのである。

毎年十二月には、このおしゃれコンクール、出場犬を連れて、恵まれない子等の施設慰問をして、喜ばれている。

この催しは今、東京でも開かれているが、兵庫県にはかなわないとシャッポをぬぐほどの定評がある。

このほか、再度山大龍寺内にJKCとしての愛犬のお墓をつくり、毎年彼岸には供養を欠かさない。

現在当支部は犬種にして約五、六〇種類、約二百余名の会員数をかぞえ、全国七〇〇支部中有数の大支部である。

会員たちは野良犬をつくらずよい犬を育てるよう努めながら、愛犬を通じて親交を重ね、ペットのいる家庭を楽しんでいる。

JKC兵庫県支部

神戸市生田区北長狭通二丁目 天野義一

△写真は犬のおしゃれコンクールより

前から "愛犬のおしゃれコンクール" を開催、好評を博している。これは、それぞれ、愛犬に衣裳を着せ、その犬に一番よく似合った衣裳をつけたものが、チャンピオンに選ばれる。

そのアイディアにあふれた装いは、写真の他にもウエディング・ドレスの花嫁、大黒さま、浦島太

美しい時計をつくり続けてきました
スイスで1791年から……



ジラール・ペルゴー

永久に正確な時を刻むジラール・
ペルゴー。香り高い芸術の気品
をしのばせるデザイン。世界に誇る
スイス時計の逸品です。

GIRARD-PERREGAUX

特約店
美甲時計店



元町店・元町三丁目 TEL331-1798
三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL331-8798

兵庫の諸問屋と 北風家

宮 本 又 次

△関西学院大学教授▽

兵庫は三方（さんほう）といって、岡方・北浜・南浜に分れていた。北浜、南浜は海岸ぞいで、岡方は両浜の背後地で、海に沿わない。岡方二十七町、北浜十一町、南浜六町、合計四十四町、明和六年に兵庫が尼崎藩から幕府の直轄地にかわったとき、佐比江新地の一ヵ町が岡方に加わって四十五町になった。北浜には島上、丘、鍛冶屋、松屋、宮前、宮内、北宮内、川崎、西出、東出、東川崎があり、南浜には、和田崎、今出在家、出在家、新在家、閑屋、船大工があった。岡方には湊、江川、木戸木場、小物屋、北仲、南仲、魚棚、塩屋、逆瀬川、東柳原、西柳原その他があり、「算所」という一割のみは町といわす、村といった。

元祿頃すでに西出町、東出町はあるが、川崎町、東川崎町はあとで出来たものである。市街の東は、海に面し、西の端は西柳原惣門、南の端は和田明神、北の端は湊町惣門で限られていた。海岸に沿って細長い町があり、南北は広く東西は狭かった。ケンベルは元祿年間ここを通つて、「市街は海岸に沿うて半円形をなし、その大きさはほぼ長崎に同じ」とのべている。

三

にうたれたが、池田信輝は花隈城をこわして兵庫に築城した。池田氏の城跡は築島船入江の西南にある切戸町のあたりにあって、堀を四方にめぐらしていたが、尼崎藩領時代には、ここを陣屋といい、奉行が駐在していた。幕府の天領になってからは、大阪町奉行所から派遣された役人が在住し、勤番所と称した。町の真中を西国街道がつらぬき、湊町惣門と西柳原惣門とが、その出入口であった。元祿頃にはそこに番所がおかれていたが、のちなくなつた。

大阪へくる廻船はおおむね兵庫に寄港したが、大阪の川口の水深が浅いので、兵庫で小船に積みかえるものが多くなつたし、また兵庫で上陸もした、諸問屋株、穀物問屋株、干鰯仲買株はことに重要で、これを三仲間と称した。諸問屋株は安永元年の免許（一二一株）穀物仲買株は明和八年（一二五株）干鰯仲買株は安永元年（七〇株）に免許された。

戦国時代伊丹城主の荒木村重が花隈城をきずき、信長

寛永年間に兵庫の北風彦太郎が加賀藩の藩米をはじめて大阪に運んだことは有名であるが、やがて西廻航路の発展とともに、兵庫に陸揚げされるものがまして来た。西国大名は参勤交代の往還に、兵庫にて宿泊もし、浜本



北風 正造

のみで、その酒を江戸へ手船でおくつたりする。以来北風家は兵庫諸問屋中の随一となり、兵庫十二浜の浜庫の過半をその手におさめる。同族北風莊右衛門貞和も北前船問屋として米穀や肥料をあつかい、蝦夷地の御用もした。養子北風正造は維新時に大活躍をなし、明治となつてもなお榮えていたが、明治十七年頃に没落してしまつ。

陣がおかれたりする。兵庫は大阪の藏米に対し、納屋米および肥料の集散地にのしあがり、ときに大阪の商権をおびやかすようにもなる。大阪行の荷物が兵庫にはいつて水揚げされ、途中売されることも多くなる。兵庫は船着場として海上の貨客を大切にした。商家の張り紙も「家内安全」とかかず、「客船安全」とかいていた。客船が安全であれば兵庫は栄え、兵庫商人の家内は必然的に安全だ、といふ考え方であつた。

廻船問屋は西出町に多く、主として北前船の廻船問屋で、これに対し東出町は菱垣、樽廻船の中心地であつた。船大工町にも地方船（芸州大島などの船）の取扱をなす廻船問屋があつた。廻船問屋はお客様を大切にし、長暖簾は法度、建珠盤（たてそろばん）も用いない。

兵庫の廻船問屋の中でもっと古いものに北風莊右衛門がいた。鍛冶屋町に住み、また淡路屋善右門（淡路）は菱垣、樽廻船を取扱い、紙店、鉄店みなこれを利用した。梶忠（梶屋忠兵衛）は兵庫台場の普請で、金を儲け、船持になつた。

北風家はもと白藤氏、新田義貞に従い、足利尊氏の軍を兵庫にてせめ、北風に乗じて敵船を焼き、大勝を得たので、義貞は北風の烈々たるがごとしと軍免状を与え、以来白藤の姓を喜多風とあらため、のち北風と称した。一族みな繁榮し、兵庫に定住して、七家に分れていた。先にのべたように寛永年間はじめて、加賀藩が北国米を大阪に廻送したとき淀屋今庵の依頼で、北風彦太郎がその航海を支配したといふ。鴻池村の鴻池新右衛門のた

兵庫と蝦夷地、松前とは西廻り航路によつて深く結ばれていた。米は津輕、出羽、越後、越中よりはこび、出羽、越後、大阪より酒をはこび、敦賀、津輕より繩筵を、瀬戸内海各地からは塙を、大阪よりは木綿をつんだ、そして各地に松前、北陸の物産をもたらした。松前からは大阪、兵庫への魚粕の移出をもし、大阪報商人とともに兵庫干鰯仲買人の活躍となる。

安政五年幕府は江戸に箱館産物会所を設置し、大阪に取締り会所、兵庫にその出張所をおいた。北風莊右衛門はその用達兼会所付であつた。また各藩が大阪の藏屋敷へ送つた藏米の残米も多く兵庫にはいつた。その上農家からの壳米としての納屋米は主として兵庫にはいる。兵庫は、大阪の藏米に対して、すぐれて納屋米市場となる。北風家は北国からの廻船を大部分荷うけし、北前船の米は八分まで、兵庫でさばかれてしまう。兵庫七宮神社の祭礼は北前船入津の季節に行なわれた。

北前船は春秋の二季に入る。春には米を積んではいる。そして売上金で、上方の物産を買ひもとめ、引返して越後、出羽、松前にて、積荷を売り、秋には鮑粕を積載して、再び上方に来た。帰航の期がおくれて、冬になると船を大阪の木津川の川口にかこつて陸路一たん帰郷し、翌年立春には、陸路大阪に出て、荷物を仕入れて、船につみ、北国に向ひ、その売上金で米を買ひ入れ、また上方に向つて廻漕する。北前船は兵庫、大阪では砂糖と塩とを多く買ひ入れたといふ。兵庫はもっぱら北風莊右衛門の家にて荷を売り、船員達は北風家にて泊つたりするのだった。

四

ケー・キデコレーション

メイブル・エリオン



北野町の自宅でメイブル・エリオンさん

一番古いお菓子屋さんで覚えてるのはトアロードにあったドイツ人のお店。余り小さかつたので、名前もよく覚えていませんが、何でも「ドット・プラット」とかいふ人でしたが、ここバター・ケー・キは特別味が良かつた。その後やはりドイツの方が繼いで「ハーフ・シュー」という店を開きました。ここエクレヤはおいしかつたし安かつたですねえ。一つ食べたらお腹がいっぱいになります。今の坂田シルバーストアのあたりにあった「アメリカン・ベーカリー」のビスケットはバターがとても沢山使つてあり風味豊かでした。『神仙閣』の向いを下つた所には『セントラル・ベーカリー』もありました。これらはみな第一次大戦前のことですから古い話ですね。

『ブロインドリーブ』も第一次大戦後です。今の御主人のパパは戦争で捕虜になつた方ですが、日本人の奥さんとお店を始められました。ここケー・キもパンも美味しく特に黒パンは大好きです。

コスモボリタンは、昔はモロゾフといい、古くよりトアロード（中山手通）に店があり、チョコレートや、ほしぶどうを売つていてよく買ひに行きました。

ユーハイムのお菓子もとても美味しくてよかつたですね。日本のお菓子屋さんでは、元町の風月堂だけでした。キャンディや、むし菓子やマロングラッセを置いていました。フランスの赤ちゃんを形どつた小さなさとう菓子みたいなのがあってかむとおいしい味が広がつたものです。戦後、元町にお住いの方から頂いた『元町ケー・リーム』をはさんで積み上げ、上を生クリームで飾つた『シルフォーライ』というケー・キをオーダーしてつくつもらつてあります。芦屋のお友だちにあげたら喜ばれ、以来『エリオンさんのお菓子』といつてオーダーする人も多いそうです。

私もブランザ（弟）のなくなる前は、よくケー・キをつくりました。ブランディやレーズン、アーモンドをメリケン粉が感じられないくらいいっぱい入れてクリスマスケーキをつくります。お宅のケー・キはおいしい、カヤクばかりやねエ」といわれたもので、（弟）も喜んで食べてくださいました。弟はケー・キデコレーションが自慢で、毎年、ひそかに新しい图案を考えては手中まつ白にして飾り、とても上手でした。亡くなつた年も、またそのあくる年も、クリスマスになると、ケー・キをつくろうと思ひながら、弟のことを思い出してしまつてだめ、材料もケー

真夜中の英國風ケーキ エスター・フク・ニュートン

主人は英国人でしたから、パイの味にはうるさくて、私もいろいろこしらえました。主人が病気になってからは戦争中でも、ケーキづくりをしました。夜中でないとガスが出ないので、午前四時か五時ごろ起きて、一生懸命つくったものです。店のお客様からもよくケーキのつくり方を教えてくれといわれましたが、もう主人が亡くなり方を教えてくれといわれましたが、もう主人が亡くなつてから二十七年にもなりますから大分忘れてしまいましたよ。

神戸のお菓子屋さんでは、ユーハイムさんと戦前からのおつきあいで、個人的にも親しかつたし、ユーハイムさんもうちの店で洋服を仕立てていらつしゃいました。生田署前にお店があり、奥さんが一生懸命サービスして、とてもよく働いていらつしゃいました。板張りの床をドドド音を立てて入り、注文すると、ご主人が並べたケーキをパツと切ってくれるのです。ミートパイや生クリームをたっぷり使ったクリームホーリンもとてもおい

しかつた。バウムクーヘンは主人も大好きでしたし、今でも一番おいしいですね。息子さんが戦死されて本当にかわいそうでした。

前は何でもユーハイムでしたが、今パンとチョコレートは『フロインドリープ』黒パンはとくに良いですね。チョコレートは『フロインドリープ』だけ。

この頃はちょっとひかえていますが、ハンドバッグの中にはいつもチョコレートを入れていました。旅行に行くときは、いろいろとそろえてお友だちと一緒にいつもチョコレートを食べていました。お店でも三代続いているお客様が多いので、お孫さんがいらっしゃると店の者が『フロインドリープ』まで走つて、チョコレートをプレゼントしたり、家にも欠かしたことありません。戦後は『コロヤス』のケーキをよく注文しました。ご主人の頃安さんはダララインにつとめて腕を磨いた方でグループでバーティやゴルフ、ダンスクラブへ行つたりする友だちでした。今は二代目の息子さんがやっておられます。四、五年前までは、関西中の店のお客様に『コロヤス』のクリスマス・ケーキをオーダーしてお贈りしていました。バターケーキがおいしいおいしいと評判よかつたものです。

今は神戸のお菓子屋さんもマスプロ的になりつつありますね。将来歴史をつづっていく上で、神戸でなかつたら、その店でなかつたらという本当の老舗になるよう、神戸の洋菓子のイメージづくりをしていってほしいと思いますね。



“エスター・ニュートン”店内でニュートン夫人

(談／オートクチュール エスター・ニュートンの店主)

花と能装束との出会い

□いんたびゅう □小原豊雲氏を訪ねて



びと愁いがあらわれています。

四月は「羽衣」。松にかかる羽衣と、天に昇つて行く天女の姿が抽象的に壁面を。フリーリッピンからとり寄せたハスの花が、王冠に美しく咲いて清雅。

五月は「石橋」。豪華けんらんな獅子の舞いを、赤頭と白頭に華麗な衣裳。薬師寺の花会式の牡丹の花が巣に咲きみだれて、激しく燃えて自然にあそぶ獅子の姿がダメイナミックです。

その他にも「隈田川」では狂女の母の心を柳と野の花で能衣裳の渋さに対し、「芭蕉」は、芭蕉の葉と夏草で旅行く俳人のひょうひょうとした雰囲気を、また「修羅」「絶域の舞」は、西洋の騎士のよろいやジャワの仮面を扱って、東と西の混沌とした妖しさに遊びに心が楽しく拝見できました。

他にも、日本いけばな芸術協会長細川護貞氏の好意によつて、細川家伝来の能面や衣裳が展出されていましたが、桃山時代の城主が、いかに一流の文化人であつたかがしのばれる興味深いもの。

昨年はインドのタンタラアートの世界にいどみ、今回は日本の「能」に対決した小原氏は、「昨年のタンタラアートより、能と花の世界の方が全般的に受けましてね。ことに若い人が、今回は興味深く観てくれまして、ぬふぐりが生田の森の素朴な叙情を漂よわせています。

三月は「熊野」。立ちいて峰の雲 花やあらん初桜の祇園林下河原」と牛車に咲きこむ吉野桜、その中に熊野の面。本願寺伝来の塗の茶弁当もぞえられて熊野の歓

奈良のお水取りが終ると、ほのやかな春のときめきを感じ、さくらの花のほころぶ姿が何となくまぶたに浮んできます。四季のうつりかわりや、自然の美しさを深くみつめて、純粹な心に結晶させた日本の古典芸術や芸能。この欧米の芸術はない独自の表現方法は、自然を客観的に見るのでなく、自然にとけこみ、いとおしむところから生れる、対象と作者が一つになつて表現がなされていることです。

二月二十二日から一週間。大阪高島屋で神戸在住の小原流家元小原豊雲氏が「花と能装束」の出会いを「幽玄」のテーマで花展を開かれ、伝統芸術の精神性を追求した力感のある作品の数々が飾られて反響を呼びました。

一月は「高砂」。松羽目は生きた松、翁の面に衣裳、そして橋懸りには舞台開きに生ける吊り花が薔薇(しょう)で。福寿草、わらび、椿も小さくお目出度く生けてあり、神聖な緊張感がすがすがしいのです。

二月は「簾」。古木の梅に生田神社からの矢羽根。平太の面に若武者敦盛の衣裳。そして黄色い菜種の花といふぐりが生田の森の素朴な叙情を漂よわせています。

ひじょうに嬉しかったです。

能と花の出会いで、私がいちばん感じたことは、どちらもその終局は同じ境地だということ。むろん昔は、茶法が巧緻になって、細分化され、専門化が進んだ結果一見すると異なる分野のようですが、その元には日本独自の精神性をみることができますね。

能の世界では「花伝書」や「花鏡」という奥義を伝える本に「花」の字がついています。夾雜物をとりのぞき、昇華した精神の高みを「花」とい、眞実の美しさを

「花」といっているのはたいへん面白いことでした。ま

た「幽玄」とは、もの静かな無限的境地をいうようですが、底にある豪華で激しく、強くきびしいものをふんまえていることを忘れてはいけないです。

能と花の出会い。一期一会が、日本的なものをつかんでいくうちに非常にありがたかった。いろいろ深く考えて、いささかノイローゼになるぐらいでした(笑)。それにしても幸せだと思うのは、こういった出会いを花の世界で実行できたという喜びですね」と語られました。日本の古典芸術の精神性に、あえて堂々と正面きつて対話をかわしあつた小原氏のエネルギー。この勇気こそ現代にいちばん必須なものなのではないでしょうか。



上は能衣裳と生花がとけあった会場。下は「鶴」の見事な梅の前で家元小原豊雲氏



イースターの夜に
花の帽子ゆれて
すき透るひかりの春



マキシンの帽子のおもとめは
全国有名百貨店でどうぞ

婦人帽子

マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
TEL(078)331-6711-3 TEL (03) 535-5041

たくましい子を祝う

端午の節句に
カメヤの五月人形を



五月人形

おもちゃの



カメヤ

三宮方面でのお買物は……

さんちか店 ファミリータウン 391-4045

三宮店 センター街 331-4969

元町方面でのお買物は…

元町店 元町通3丁目山側 331-0090

バンブウ店 元町通1丁目不二家前 391-0768

オリジナルな菓子作り

バレンタイン・F・モロゾフ ▲コスモボリタン製菓社長▼

吉川 進 ▲風月堂社長▼

河本春男 ▲ユーハイム社長▼



★神戸とともに育った洋菓子

吉川 私どもは、創業が明治三十年十一月十二日、場所も現在やつております同じ元町三丁目なんです。私の祖父が、元町二丁目にありました市田写真館の創始者にすつかり傾倒していました、その勧めもあって父が県立商業を終えたのを機に、東京の鍋町風月堂へ修行に行かせたわけです。ここで父は、市田氏の助言により、洋菓子を修行いたしまして、本店の大住さんから暖簾をわけていただきました。そして神戸で開店するにあたっても、市田さんの紹介による棟梁に頼みまして、当時としては非常にモダンな、まるで銀行のような、とても菓子屋とは思えないような建物でした。これは戦災のため昭和二十年六月五日に焼失しました。

当時の製品なんですが、現在よりもバラエティに富ん

でいまして、フランス菓子を中心にして多くあったようです。例をあげますと、ガトーパイ、シュークリーム、エクレア、それにクッキー、ビスケット類、キャンデーではマーブル、バースコッチ、ヌガなどもありました。古い方ならチョコレートキャラメルをご存知かも知れません。ゴーフルはもう少し遅れるのですが、マロングラッセは初めから作っていました。

河本 日独戦争で捕虜になりましたカール・ユーハイムが、日本へ来て銀座尾張町にありました明治屋さんの「カフェーユーロップ」の菓子部で職人として働くようになつたのです。一方、エリーゼ夫人は五年程遅れて日本へやつてしまいまして、そこのお手伝いをするという形で、日本での仕事を始めたのです。が、二、三年する内に、エリーゼ夫人は自分の頭文字のEをとり、「E・ユーハイム」という名の店を横浜に作りました。ところが大正十二年の震災で店が壊れてしまつて着のみ着のままで避難船に乗つて、着いたところが神戸だったのです。そこで二人は店の名前も「ユーハイムズ」として開店し、その年のクリスマスにはもうお菓子を徹夜で作つて売つたといいます。神戸での仕事はこういう状態で始まつたのですが、今度の戦争で全部焼けてしまい、更に強制送還を受けていますから一度は全く無くなつてしまつた時があるんですね。それで、戦後、再び復活してやつてい

「なるのですが、エリー・ゼ夫人にいわせますと、「転ばない者は強くならない。」といいます。

が、第二次大戦の終る前日に亡くなられたのです。だから、戦後の中心はエリー・ゼ夫人なのです。そんなことから、横浜時代から戦後まで、エリー・ゼ夫人のユーハイムといえますけれども、カールさんが菓子職人として非常に立派な腕を持っていたということがユーハイム発展の一番の原動力だったと思います。まあ、ユーハイムの歴史を考えてみるとここまで来るのには色々と苦労があり、それが支えとなつてゐると思いますね。

の頃から、私は手伝い始めました。チョコレートもみんな手づくりでした。それで皆さん方も競争があつたわけですが、ケーキはユーハイムさん、チョコレートは私どもということで……。最初の頃はチョコレートを売っているのは、三軒位でしたよ。

シアで高級チョコレートを作っていましたので、全く関係が無いわけでもなかつたのですが、とにかく初めてチョコレートをやろううて、いうことになりました。そこで友人の勧めもあり日本でやつてみてはどうかといふので、一九二六年に神戸で始めたのです。トア・ロードで、外人相手にやつていたのですが、神戸はコスモポリタン的ということ

バレンタイン・モロゾフ 私で二代目になるのですが、日本に来たのは一九二四年頃でアメリカから来ました。それまではロシア、それから父が政府の仕事で満州へ行ったのですが、革命が起きたのでアメリカへ行つたのです。そしてシアトルでロシアのユダヤ人が経営するチョコレート工場で働き始めたのです。もつとも父の妹がロ

河本 物が豊富になつてくれれば、味の薄いものを求められますが。味が薄いからこそ、素材の良さがわかるのでありますね。そんなことからも、私どもで一番困ったのは、バターの使い方です。フレッシュバターだけでやって居りますので、バターの味がそのままお菓子の味ですから。昔、バターなんて知らない人の方が多かった時には、にはもう違います。日本人は本当にわかつてます。



おいで鼻につくなどといわれて苦労したと申していま
した。

吉川 大正の頃には、日本ではいいバターが無くて、全
部オーストラリアから輸入していました。なんといって
も洋菓子のものは、メリケン粉とバターですからね。

★トップレベルの神戸の洋菓子

編集部 初期から今まで、ずいぶんご苦労されたと思
いますが、お客様について、なにかエピソードがありま
したら……。

吉川 大正時代にまだ喫茶店というものが無かつた頃、
ウチの二階で夏の間だけですが、アイスクリームを食べ
てもらっていたことがあります。これは今もやっています
ウエハスではさんだアイスクリームなんですが、それに
ダイアモンドレモンといって、今のサイダード、そんなも
のを出していました。で、ストロベリーのアイスクリー

ムがありまして、これは、私どもいちごジャムを作つて
いましたので、そのプロセスで得られるエッセンスから
シロップを作つて使つていたのです。それを当時の川崎
造船所の松方社長さんが、中山手から馬車で出勤する途
中によく食べに来て下さったということです。

河本 私どもの場合は、東京のユーロップの時代からそ
うなんですが、文化人が非常に愛好したといえます。も
ちろん、当時は値段が高かつたということもあるのです
けれど……。そんなことから小説などにもよく書かれた
す。「細雪」にも出てまいります。そういうわけで色々
な方が来て下さいますし、二代目のお客さんもいらっしゃ
います。

バレンタイン・モロゾフ 私の方でも、二代目、三代目
のお客さんがいらっしゃいます。東京の店へいらっしゃ
った方が、親が神戸でよく買っていたなんておっしゃい
ますしね。

それから、神戸の人は味
覚が発達しているので、む
ずかしいです。それだけ
に、神戸のお客さんがアク
セプトしたら、これはもう
大丈夫です。

しかし、神戸のお菓子
は、もうどこへ出しても恥
ずかしくありませんよ。
吉川 進さん 進さん
吉川 国際港都ということ
でね、外人との接触も多い
しこスモボリタンさんも、
ユーハイムさんも、神戸の
港が一つの縁で発展して来
られたということもあります
ね。



★スペシャリティのある
洋菓子づくりを



河本 春男さん

編集部 では、洋菓子界の最近の傾向とか、その将来についてはどうでしょ

うか。

河本 最近の傾向としては、軽いものが好まれています。これは味の面、見た感じ双方で軽いということです。それから、やはりファーリング時代ということで、何か、かっこいい、爆発的に売れるということ

こともあります。なんといつても神戸は新しい、維新以後に発展したということもあって堅苦しい雰囲気もないので、これは食品工業に限りませんが、新しいものが発展しやすかったのではないでしょか。六大都市の中では、この方面では恵まれていると思います。それになると、人材が集まつたということでしょう。これは神戸にとって幸いなことでしょう。さらに神戸の洋菓子が神戸にのみ止どまらず、日本全国へ出ていっていることも見のがせませんね。神戸にとって洋菓子は重要産業であるということが出来ますね。神戸の経済にとって、非常に貢献していると思いますよ。

河本 やはり、神戸に外人が多かつたこと、神戸が明るくて環境のいい街であることなどが洋菓子の発展に大変良かったのだと思いますね。

それに、服装でもそうですが、神戸の人はセンスが良いということがあります。なんといつても消費者の声といふのは大きいですからね。

吉川 ものによつては甘味ということも大事であろうと思ひますが、総体的には、重いものより軽いものになつていくと思います。しかし、なんといつても食べ物ですので電気製品みたいに、新しい発明発見が急に出来るわけでもないので、それに、日本人の味覚に合うようなものを紹介するといった方向でいくこととなります。更に

販売規模と商品の日持ちという点でのかねあいにもむずかしい問題があると思います。

バレンタイン・モロゾフ 私も色々と楽しい製品を作るのが好きでやっているのですが……。これはどこでも同じことなのですが、スタンダードな製品があるわけですよ。例えばガトーナラガトー。それにペイ、これは少しでも変えると、全く別の製品になってしまいます。ですからファーリングという点では自分の創造で変えられるのです。しかし、全然新しいお菓子が作れないとはいえないと思います。材料の変遷とか冷凍船といった運搬手段の進歩によっても新製品のあらわれる可能性はあると思います。

それに戦後すぐは、作ればなんでも売れたという時代ですが、これからはそうはいかない。お客様が一番良く知つていらっしゃいますからね。これからはきびしいと思います。競争も激しくなると思いますが、それはお互いのためにも、またお客様のためにもいいことだと思います。

河本 私ども、社内で申しますことは、菓子屋ではまだ、健康食品メーカーでなければ、といふんです。つまり、ユーザーの希望に常に応じられる態勢になければ、と言うのです。例えば、離乳食になる菓子、体を作る菓子、食べる楽しみを満足させる菓子、そんなふうに色々考えられますね、そこからオリジナルな菓子が出てくるのだと思いますよ。

バレンタイン・モロゾフ スペシャリティのある菓子といふことですね。

河本 それが課題となるでしょうね。

吉川 たしかに、それは研究していかねばならないことだと思います。

河本 洋菓子界のこれからということですけれど、正直いしまして今までの段階は模倣です。が、これではダメですので、洋菓子の本質を各自が真剣に考えて、ユーザーの求めに応じられるものをそれぞれが創り出すことに

よつて消費者の共感を得いくようにしませんと、今の状態では競争だけしていて、結果的には共倒れになりますしないかと心配です。

吉川 やはり、自分で開拓するということが大事ですね。ひとつ当るとすぐに模倣するということがあるのです。これはやはり改めなければならないですね。

河本 それから、原料の問題があります。職人が変化してきたということもあって、やや半製品的な原料が多くなつて来ていますが、これはやはり考えなければならぬことだと思います。純粋な原料をうまく使って、いいお菓子を作るという方向へ持つていかないとダメです。それで技術の習得ということなのですが、これだけは、自分で発見する以外にありませんね。

バレンタイン・モロゾフ ベーキングはある程度、教えることもできますが、スペシャリティということはむずかしいですね。それに、好きにならないとダメです、この仕事はね。

吉川 加工食品だから原料は大事ですね。粉にしろ、卵にしろ、砂糖にしろ、規格品みたいになつて種類が減っているのではないかと思うんです。根本は原料ですからね。

バレンタイン・モロゾフ 純粋なものを使うというのは大事ですね。

河本 半製品的なもので、安易な方向へ流れていると、外国からどんどん良いものが入つてきた時に困ると思うのですよ。勉強が大事ということですね。

バレンタイン・モロゾフ 外国へ行って、店を写して、それとそつくりのものを作つてもだめなんですよ。

またそんな人ほど、研究したとか、どこと提携したとか言いたがるんですね、プロフェッショナルということが一番大事ですよ。

吉川 神戸市の財政を菓子屋が支えているといふくらいの気がまえを持つて、よりおいしい洋菓子作りに努力していきたいものです。

△オリエンタルホテルにて△

経済ポケット ジャーナル

★来年のJCアジア会議誘致へ神戸JCが立候補
神戸JC（青年会議所、西正興理事長）はこのほどアジア会議誘致実行委員会事業として来年度のJCアジア会議の開催地に神戸が立候補することを正式に決め、近く国際JC事務局に申し込むことになった。開催地決定は、この四月六十九日に香港で催される七十二年度アジア会議の最終日に各國の投票で確定するが、神戸に決まれば日本で開かれるのは五十九年の大阪、七十年の福岡に続いて三度目。

JCアジア会議はアジアのJCメンバーが互いに日本の活動成果を報告し合い、新しい運動指針をさぐるため毎年一回、アジア各国を持ち回りで開催されているもの。神戸JCでは「アジア問題が重要になっていること



鈴木正治教授

もあって、地域開発や指導活動などをテーマに、アジアの青年同士の情報交換と交流の場として、ぜひ誘致したい」としている。

★甲南大学新学長に鈴木正治教授が就任
甲南大学の第四代目の学長（公選の学長としては三代目）に、鈴木正治教授が就任した。

もあって、地域開発や指導活動などをテーマに、アジアの青年同士の情報交換と交流の場として、ぜひ誘致したい」としている。

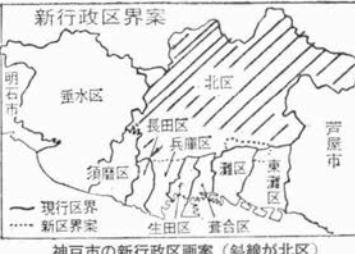


★神戸市北神地区の新区名が「北区」に決定
神戸市は、人口増が激しい北神地区を兵庫区から分離独立することにし、新区名を市民から公募していた

な大学にしたい。」と抱負を語った。鈴木氏は宮城県生まれ、明石市在住、58歳

が、このほどそれが「北区」と決まった。新北区は兵庫区山田町以北△二十二年三月に神戸市と合併した区域▽で、有馬、長尾、道場の計八町。広さは約二百四十七平方。で市域の四六%を占める。人口は約十万人。

また、北区の新庁舎は鈴蘭台西町一丁目の神戸電鉄鈴蘭台駅北約三百㍍に三千平方㍍の用地を買収、七月ごろ着工し、一年後に完成させる。新庁舎は、鉄筋四階建で、区役所のほか福祉事務所、保健所を新設し、公会堂も置く。新区は区庁舎が完成する四十八年八月ごろ、区界変更は四十七年六月一日スタートの予定。



神戸市新行政区画案（斜線が北区）



★KOBE オフィスレディ★
西藤裕美（21才）
デザインショップ匠・デザイナー

北野町を一人歩いていると、異人館の角でおじいさんがハーモニカを吹いていた。そしておじいさんはこっちを向いて「犬が空を飛んでるよ！」といってからかってみせた。

彼女の頭はメルヘンの世界……。

東二見在住

芦屋芸術学院卒

北欧の器草
D-1117-287271

本社・工場・展示場 ■ 横浜市緑区根岸町1(市立美術館裏)

三宮北口1番本店 ■ 横浜三宮北口1番(東横・喫茶・D-1117-2421
TEL 221-1164

神戸・元町4丁目南 梅田341-0693
TEL 331-2421

大阪・梅田3丁目北 大阪231-2106
TEL 391-3556

北欧の器草

アーティストアート専門店

6月1100円
・陶器壁飾りなどアートの販売

柴田喜吉洋服店
O-SHIBATA

Excellent Gentleman

本格派の貴方へ

贈る

神戸・元町4丁目南 梅田341-0693
TEL 331-2421

大阪・梅田3丁目北 大阪231-2106
TEL 391-3556

まいしょつぶ

店舗のインテリアに
かかせないもの
キャッチ カラー！
“しにせ”の風格を表現し
店舗のイメージアップに
つながる
オレンジ色は「ヒロタ」の
キャッチカラー



入船KK 設計・施工
さんちかタウン洋菓子の「ヒロタ」

in ニンテリフ リコナ

企画・設計・施工のオールマイティ
入船株式会社

神戸市灘区友田町5-2-2
TEL (078) 851-3191